製品には万全を期しておりますが、
お気づきの点がございましたらラッキー工業までご連絡ください。

ラッキー工業株式会社

www.lucky-baby.co.jp
岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8
TEL：+81-(0)585-45-7425

TD00002
NP17-07

HIN-YARi

パパ・ママ、赤ちゃんの幸せのために

取り扱い説明書

新生児対面抱っこ　：　生後10日頃～首がすわる(4カ月頃)まで
対面抱っこ　　：　首がすわってから（4カ月頃）～24カ月（体重13kg)まで
腰抱っこ　　：　腰がすわってから（7カ月頃）～36カ月（体重15kg)まで

ご使用になる前によくお読みの上正しくお使いください。
また、取り扱い説明書（本書）は必ず保管してください。
本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず取り扱い説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は十分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、
使用頻度にもよりますがお使い初めてから約３年を耐用年数とお考えください。

"万能な抱っこひも"　ラップ

ラップは "万能な抱っこひも" とも言われています。
その構造はとてもシンプル、でもその機能・効能はとても素晴らしいものです。

肌と肌の触れ合いは、赤ちゃん - 特に新生児の赤ちゃんにはとても重要です。
肌と肌が触れ合い、ママの鼓動や温かさを感じることで、赤ちゃんは精神的に
穏やかな状態になり、呼吸や体温、心拍数なども安定します。

また、一般的な腰ベルト抱っこひもとは違い、ラップは一枚の布のみで
"事前に形作られていない"ので、より快適に各々のパパ・ママ、赤ちゃんにフィットします。

過剰な熱に気をつけて

ラップの一番の特徴は、各々のパパ・ママ、赤ちゃんにしっかりとフィットできること。
しかし、暑い時期にラップを使うには注意が必要です。
赤ちゃんは体温調整が自分ではまだうまく出来ず、通気性の悪い布製ラップだと
ラップの中で赤ちゃんの熱がこもってしまいます。

HINYARi - メッシュ素材で作られた、通気性にこだわったラップです。

赤ちゃんを長時間抱っこし、肌と肌を合わせているとどうしても熱がこもってしまいます。
そんな不快さを解決するのがHINYARi ラップ。オールメッシュで作られているので
過剰な熱を効果的に分散。さらに、シャワーやプール、海などでも使えるので、
水を怖がる赤ちゃんを優しくサポートします。
通気性以外にも、ポケット形状に早変わりなど、HINYARiはお出かけにとっても便利です。

HINYARi ラップの特徴

抱っこをする前の準備

1．生地の真ん中にある
ポケット部分を探します。

2．ポケット面を表にし、ロゴが
胸の前に来るような高めの位置に
置き、生地を左右から背中の方に回します。

3．背中に回した生地を背後で交差させ、
左右それぞれの生地を肩の上を通して
引っ張りながら前に持ってきます。
このとき、生地がねじれてしまわないように
注意してください。

4．背後には"X"の文字が
現れるようにします。

5．前に持ってきた左右の生地を片手で掴み、
ロゴが付いた生地の下に入れこみます。

6．下に引っ張りながら前で交差させ、
"X"の文字が現れるようにします。

7．腰のあたりから背後に生地を回し、
さらに一周し前に持ってきて固く結びます。

8．もし、生地がまだ余っているようであれば、
さらに後ろに回して固く結びます。
結び目は、左右前後どこでも大丈夫です。

赤ちゃんの取り出し方

必ず、先に赤ちゃんをラップから出してから生地を解いてください。
先に生地を解くと、赤ちゃんが落下してしまう可能性があります。

1．赤ちゃんの背面にある生地を下ろします。

2．赤ちゃんを抱き上げるようにして
ラップから出します。このとき、赤ちゃんを
しっかりと支えてあげてください。
新生児の場合は首のサポートにも注意して
ください。

新生児対面抱っこ　：　生後10日頃～首がすわる(4カ月頃)まで

1．P4-5の"抱っこをする前の準備"
をご覧ください。
肩から胸にかかっている生地のうち、
自分に近い方の生地を持ちます。

2．お子さまをしっかりと支えながら、
１で掴んだ生地とは反対側の肩の上に
げっぷをさせる時のように高く
抱き上げます。

3．お子さまのおしり・背中・肩を１の生地で
覆うように広げ、自分の胸を滑らせるような形で
ゆっくりとお子さまを生地の中にいれます。
★このとき、お子さまの足はあぐらをかく
ように膝を曲げた状態にします。

4．反対側の肩から胸にかかっている生地も
広げ、お子さまのおしり・背中・肩をしっかりと
覆うようにします。

5．ロゴが付いた部分の生地を、赤ちゃんの肩まで
覆うようにして下から広げ上げます。
もし、お子さまが下がってくるように感じた場合は、
よりきつく巻きなおしてください。
★お子さまの気道がしっかりと確保されていることを
常に確認してください。

6．お子さまの首がすわるまでは、
肩から胸にかかっている生地が
お子さまの頭をしっかりと包み込むように
注意してください。

対面抱っこ　：　首がすわってから（4カ月頃）～24カ月（体重13kg)まで

1．P4-5の"抱っこをする前の準備"
をご覧ください。
肩から胸にかかっている生地のうち、
自分に近い方の生地を持ちます。

2．お子さまをしっかりと支えながら、
１で掴んだ生地とは反対側の肩の上に
げっぷをさせる時のように高く
抱き上げます。

3．お子さまをしっかりと抱き、生地の中に
片方の足を通して外に出します。

4．生地を広げて、お子さまのおしり・背中・肩を
覆うように広げます。
★このとき、生地がお子さまの膝の裏まで
覆うようにしてください。

5．もう片方の肩から胸にかかっている生地の中に
足を通して外に出し、お子さまのおしり・背中・肩を
覆うように生地を広げます。
★このとき、生地がお子さまの左右の膝の裏まで覆い、
足がM時になるようにしてください。

6．お子さまのおしりの下に来ている生地を持ち上げ、
お子さまの左右の足をくぐらせます。
くぐらせた生地を上に引き上げ、おしり～背中を
覆うようにします。
もし、赤ちゃんが下がってくるように感じた場合は、
よりきつく巻きなおしてください。

腰抱っこ　：　腰がすわってから（7カ月頃）～36カ月（体重15kg）まで

1．　初めに、左右どちらにお子さまを抱っこするか
確認のうえ、P４-５の”抱っこをする前の準備”
をご覧ください。

2．　肩から胸にかかっている生地のうち、
自分に近い方の生地が、自分がお子さまを
抱っこしたい方と同じになっていることをご確認ください。
（写真の場合、向かって右側の生地が使用者に近い内側
にきており、向かって右側に抱っこします。）

3．　ラップを、真ん中から左右どちらか
抱っこしたい方へとずらします。
（写真の場合、向かって右側にずらします。）

4．　赤ちゃんをしっかりと支えながら、
３でずらした方とは反対側の肩の上に
げっぷをさせる時のようにお子さまを抱き上げ、
生地の中に片方の足を通して外に出します。

5．　生地を広げて、お子さまのおしり・背中・肩を
覆うように広げます。
★このとき、生地がお子さまの膝の裏まで
覆うようにしてください。

6．もう片方の肩から胸にかかっている生地の中に
足を通して外に出します。

7．お子さまのおしり・背中・肩を
覆うように生地を広げます。
★このとき、生地がお子さまの左右の膝の裏まで覆い、
足がM時になるようにしてください。

8．お子さまのおしりの下に来ている生地を持ち上げ、
お子さまの左右の足をくぐらせます。
くぐらせた生地を上に引き上げ、おしり～背中を
覆うようにします。
もし、赤ちゃんが下がってくるように感じた場合は、
よりきつく巻きなおしてください。

コンパクトに折りたたむには

1．　生地の真ん中部分についているポケットサイズに
なるように、生地を折りたたみます。

2．　ポケットの中に手を入れ、
生地を掴みながらひっくり返してください。

3．　完成です。

お子さまの頭を覆わないように注意してください。

生地でお子さまの頭を覆いかぶせてしまうと窒息のおそれがあります。
必ずお子さまの頭は外に出し、常にお子さまの状態が確認できるようにしてください。

適正な位置で抱っこしてください。

お子さまの位置が使用者さまのあごより下にある場合は安全な状態ではありません。
お子さまのおでこにキスできるくらいの位置が、ラップの適正な抱っこの位置です。

取り扱いを誤った場合、お子様の転落、ケガや危険につながるおそれがあります。
安全に使用していただくために、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

- 抱き方に対する推奨月齢並びに体重をお守りください。
  新生児対面抱っこ　：　生後10日頃～首がすわる(4カ月頃)まで
  対面抱っこ　　：　首がすわってから(4カ月頃)～24カ月(体重13kg)まで
  腰抱っこ　　：　腰がすわってから(7カ月頃)～36カ月(体重15kg)まで
- ご使用前に、やぶれ、ほつれ、傷、破損などがないか確認してください。
  もし破損が見つかった場合、使用しないでください。
- 使用中に、本体生地の結び目を解かないでください。
  また、確実に結んであることを確認してください。
- お子さまを取り出す際は必ず先にお子さまを外に出してください。
  結び目を先にはずすと落下の恐れがあります。
- 使用の際は、本体生地が身体にフィットするように締め具合を調整してください。
- 使用中はお子さまを必ず手で支え、親の目で注視してください。
- お子さまの抱っこ以外の用途には使用しないでください
- 使用中は、走ったり、跳んだり、45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
  かがむ必要がある際は、腰からではなく膝を曲げてかがんでください。
- お子さまが立ち上がったり、反り返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。
- お子さまの乗せ降ろしは安全な場所で腰を低くした姿勢で行ってください。
- お子さまの気道が確保されていることを常に確認してください。
  危険な事例：口や鼻に生地が覆いかぶさる、お子さまのあごが胸につくなどして呼吸ができない、等。
- 抱っこ時は使用者の視界が妨げられたり、足元が見えにくくなりますので歩行時には十分に注意してください。
  また、階段など段差のある場所では、お子さまの上体を正面から横にずらすなど、視界を確保してください
- 火気の近くで使用したり、製品を放置しないでください。
- ベルトやイヤリング、その他アクセサリー等の尖った物には気をつけてください。
  スリングを傷つける可能性があります。
- 飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。
- お子さま、ご使用者の体調が悪い場合は使用しないでください。
- お子さまが未熟児や障害をお持ちの場合、お使いいただく前にかかりつけのお医者さまにご相談ください。
- 使用中は、お子さまの状態に常に注意してください。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

- 授乳後 30 分間以内の使用はしないでください
  （お子さまのお腹が圧迫され、吐き戻しの原因になる可能性があります。）
- 連続 2 時間以上の使用はしないでください。
- お子さまが思わぬ動きをすることで体勢を崩す可能性があります。
  使用中は十分注意してください
- 汗や水で湿った状態で強い摩擦を受けると、他に移染するおそれがあります。
- 廃棄する際には地方自治体の指示に従ってください。
- 1 人のお子さまのみ抱っこしてください。
- 不安定な場所など危険が予測できるでは使用しないでください。
- 使用中、熱い飲み物などを飲む場合は気をつけてください。お子さまのやけどにつながる危険性があります。
- お子さまが成長し好奇心が増すと思わぬ力で反り返ったり、抜けだそうとしたりする可能性があります。

お手入れ方法

製品縫い付けの洗濯表記をご確認ください。